

事務事業名	中心市街地道路整備事業		会計	一般会計	実施区分	継続
			事業種別	政策	開始	終了
H29作成課等名	土木課	H29係等名	市街地基盤整備係	H28担当課等名	土木課	
基本計画上の位置づけ	政策	8	山・里・街の魅力を高め、交流と連携によるグローバルなまちづくり			
	施策	84	活気ある街づくりの推進			
目的	対象(誰・何を)	市街地に居住する人、通行する車両、市民、来街者。			指標名及び単位	28年度数値
	意図(どういう状態にするか)	安全で快適に通行できる。			市民数:人	100957
	向上させたい上位施策の成果指標	歩行者・自転車通行量、文化交流施設利用者数、都市福利施設等利用者数				
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画
	成果指標	進捗率:%(当年度までの実施済額/全体事業費)		22	20	30
	定性目標					
事業概要	都市再生整備計画指定エリア151ha(中心市街地活性化基本計画区域)の中で、この事業に計画する車道・歩道・側溝等の整備を行う。 計画路線延長 L=2,426m					
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標
	1 道路 道路改良、舗装、歩道段差解消工事 市道水の手線 水の手町 L=156.4m(本工事) 市道谷川2号線 中央通り L=95.0m(本工事) 2 高質空間形成施設 道路改良、舗装、排水路整備 市道飯田564号線 馬場町 L=37.0m(本工事) 市道飯田99号線 二本松 L=200.0m(本工事) 市道林檎並木大宮線 りんご並木 L=122.0m(本工事)			1 整備延長、整備箇所 2 整備延長、整備箇所		1 L=251.4m、2カ所 2 L=359.0m、3カ所
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足
事業費計(千円)①		113,484	181,845	161,922	19,550	(国)社会資本整備総合交付金(市街地整備)(4.5/10) (地)合併特例(充当率95%)71,200千円 (地)公共事業等(補正予算分充当率100%)15,200千円 28→29 繰越明許費 19,550千円
国庫支出金		50,300	80,100	71,320	8,780	
県支出金						
起債		59,900	97,100	86,400	10,700	
その他						
一般財源		3,284	4,645	4,202	70	
人件費計(千円)②		0	0	0	0	
正規職員所要時間						
臨時職員所要時間						
総事業費①+②		113,484	181,845	161,922	19,550	
事業内容・目標達成状況の振り返り	国費の内示率が低く予定していた箇所の事業実施が難しかったが、2次補正で要望したところ当初要望どおりの内示額となったため目標としていた工事を行う目途が立った。 2次補正による事業実施となったため、繰越工事となってしまった。					
改革改善の考え方	①問題点	交付金事業のため、国費の交付率に大きく左右され、予定している事業をすべて執行する事が難しい。整備計画(5カ年)の半分を過ぎたため、未実施事業を検証し見直しを行う必要がある。				
	②改革提案	事業を精査し、優先付けを行う中で集中的に事業を執行し、早期完成を目指す。事業費の年度間調整を行い、年度毎の事業費の標準化を図る。				